

平成27年度行政評価 施策評価シート（平成26年度実績）

施策名 消防・救急体制の充実

施策コード 040102

1. 施策の担当	
主管課	市長公室 市民協働課
関係課	

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第4章 安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり（安全・環境）	第1節 消防・防災
	施策	消防・救急体制の充実	

基本方針
・ 地域住民に対する防火への啓発を進めながら、きめ細かな火災予防を推進します。
・ 急増する救急需要に対応する適正利用の広報、応急処置等の啓発を図るとともに、救急体制の強化を進めます。
・ 想定される様々な災害に備えて、迅速かつ的確な対応をとることができる消防施設の充実や消防装備の充実強化を進めます。

現況と課題
・ 全国的に住宅火災の低減が求められている中、啓発活動を通じて住宅防火を推進する必要があります。
・ 救命率向上のために、AEDの取扱いを含め救命処置に関する講習を積極的に実施する必要があります。
・ 適切な消防活動を行うため、消防救急無線のデジタル化に対応する必要があります。
・ 消防団活動の活性化を図るため、団員の確保、資質向上を図る必要があります。

施策目標
対象（誰を、何を、どこを）
市民
意図（どのような状態にしたいのか）
火災予防に関する啓発活動を行い、防火意識の高揚を図ります。各種災害に即時対応できるよう消防団の装備の充実強化を図り、市民の安全安心を確保します。

3. 市民ニーズ							
	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
満足度（偏差値）			62.2				
重要度（偏差値）			65.1				

4. 施策にかかるコスト								
コストの内訳	人件費	単位	H25決算	H26決算				
	事業費	千円	6,096	6,266				
	フルコスト		11,235	15,924				
財源内訳	国庫支出金	千円	17,331	22,190				
	府支出金							
	市債							
	その他							
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）		17,331	22,190				
	一般財源2（＝直接事業費－特定財源）		11,235	15,924				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標 1		町会等に対する防火教室実施率					
項目	H22実績	H23実績	H24実績	H25実績	H26実績	H27計画	H28計画
目標値	25.0	50.0	55.0	60.0	65.0	75.0	80.0
実績値	33.7	48.1	51.9	58.0	54.0		
達成度	134.8	96.2	94.36	96.66	83.07		
指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
防火教室の実施率の増加により、火災予防に対する市民への啓発が進んでいることがわかります。		過去の実績を考慮し予測したところ、5年後を50%、10年後を100%と設定した。平成22年度実績を勘案して、5年後を80%に設定を見直し、平成23年度から市主催の草の根防災教室の参加が増加しているため、目標値は毎年5%増を目標とする見直しから、平成27年度から10%増と見直した。		火災予防に関する市民の関心度が高く、比較的高い水準で実施できているが、草の根防災教室の要望が市民から寄せられ、防火だけではなく、救急講習などが増加していることから実施率の向上につながると考えられる。			

6. 施策の事後評価			
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 2	住宅用火災警報器の普及率は、まだ低い状況であり、更なる啓発が急務である。防火教室の実施については、草の根防災訓練との関係から実施回数は多くなっているものの、過去に実施していない地域からの実施要望がないため昨年に比べて成果が落ちているが、今後は増加に転じるものとする。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 3	H24市民アンケート調査の満足度の偏差値は、62.2となった。東日本大震災により自然災害に対する備えの重要性は高まっている。この状況の中で防災の最前線で活躍する消防に対する市民ニーズは今後更に大きくなると考えられる。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	消防は、消火、救急、救助が主たる業務であるが、東日本大震災などの広域災害や原子力事故などの特殊災害などに際して緊急援助活動の迅速性が大きく評価されており、今後も消防に対するニーズは更に大きくなると考えられる。
	合計点	(10点中) 8 点	
二次評価 (政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、広域化による消防・救急体制の充実を図ること。
三次評価 (理事者による評価)		B	引き続き、広域化による消防・救急体制の充実を図ること。

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			H26年度決算額			H27年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01045400	消防活動事業 (消防団)	5,483	15,434	15,434	14,525	B
2	01045500	庁舎管理事業 (消防団)	783	490	490	649	B
合計			6,266	15,924	15,924	15,174	